

Japan and the Chrysanthemum

日本×菊³

日本の菊づくり



綴織仕切張地試織「菊真垣」(1922)

2019 7.19 fri — 2020 8.20 thu

川島織物文化館

開館時間 = 10:00 - 16:30 (入館は16時まで)

休館日 = 土・日・祝日/夏期・年末年始 (詳しくはお問い合わせください)

入館料 = 無料

見学ご予約 = 見学は事前にご予約が必要です (TEL: 075-741-4323)

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

京都市左京区静海市原町265



日本×菊³

日本の菊づくり



菊の花はお好きですか？

菊の花は、奈良時代や平安時代に中国より日本にもたらされ、愛されて続けています。特に後鳥羽上皇（1180-1239）は菊が大好きで、ご紋章に菊を用いたことでも知られています。菊の種類は多種多様で、江戸時代に起こった園芸ブームで鑑賞用の品種が一気に増加しました。明治に入りさらに改良が進み、川島織物が明治37年に開催したセントルイス万国博覧会の「若沖の間」には百種類もの菊の花葉を装飾に用いています。今回の特別展は、日本人の心の花として親しまれてきた「菊」をテーマに収蔵作品をご紹介します。

The chrysanthemum arrived in Japan from China during the Nara and Heian Periods, and has been loved here ever since.

The number of chrysanthemum varieties is diverse. The number of ornamental varieties was increased starting with the gardening boom during the Edo Period, and after further refinements during the Meiji Period, the large-flowered varieties of chrysanthemum were born.

Kawashima Textiles has made use of chrysanthemum patterns in our textiles and decorations since the Meiji Period. This special exhibit displays works according to the theme of the chrysanthemum as the flower that is most loved in the hearts of the Japanese people.



左上 紋織帯地試織「四季の芳」（明治期）
 左中 紋織帯地図案「菊唐草」（明治期）
 左下 綴織壁掛「湊川合戦」（1920）
 右下 紋織柱隠「菊花文様」（1888）
 タイトル横 釘隠し七宝焼き見本（明治期）

※会期中作品の展示替えを行います。（展示内容についてはお問い合わせ下さい）

展示解説会と工場特別見学会

実施日：2019年7月 19・22・26・29日
 8月 2・5・9・19・23・26・30日
 9月 2・9・13日
 時間：13:30～15:00 定員：各日先着10名
 参加方法：当日13:20までにお越し下さい。（事前予約不要）

手作り体験 シルクタッセル型チャーム

実施日：2019年7月29日、8月2日、9月4日
 時間：15:30～16:30
 参加費：1,500円 定員：各日先着10名
 参加方法：Webよりお申込み下さい。
<https://bit.ly/2Xx15CX>



川島織物文化館 KAWASHIMA TEXTILE MUSEUM

〒601-1192 京都市左京区静市市原町 265
 TEL：075-741-4120

■ アクセス

- 電車・バス
 - ・京都市営地下鉄「国際会館駅」より 京都バス（50/52系統）「小町寺」下車 徒歩約5分
 - ・叡山電車「市原駅」下車 徒歩約7分
- お車
 - ・京都市営地下鉄「国際会館駅」より 約15分
 - ・京阪電車「出町柳駅」より 約25分
 - ・京都駅より 約40分
 - ・名神高速道路「京都東IC」「京都南IC」より約60分

見学は事前にご予約が必要です TEL：075-741-4323

<https://www.kawashimaseikon.co.jp/bunkakan/>

